多様化する働き方に対応した新たな選択肢 15.6 型ノート PC を利用するメリット

オフィス中心、テレワーク中心どちらのスタイルにも利便性を提供

新型コロナウイルスが流行しはじめて数年が経過した昨今、企業の勤務体制はテレワークとオフィスワークいずれかを中心にする企業のほかに、その都度最適な場所を選ぶ「ハイブリッドワーク」を採用する企業も増えつつある。働き方が多様化する中で、業務 PC の新たな選択肢として考えたいのが 15.6 型のノート PC だ。昨今では、大画面ならではの利便性を実現しながら持ち運びにも対応できるモデルが登場している。本ホワイトペーパーでは、これからの働き方に 15.6 型のノート PC を選ぶメリットを解説する。

コロナ禍における働き方の変化

働き方は「ハイブリッドワーク」が増加

新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、2020 年頃から人が密集しやすいオフィス勤務は避けられるようになった。「時差出勤」や「交互出勤」といった勤務体制で密集を分散させたことに加え、業務に支障をきたさないよう「テレワーク」や「在宅勤務」といった新たな働き方も普及した。

しかし 2020 年の流行から数年が経過し、ソーシャルディスタンスを確保できる体制や、ワクチン接種が国内に浸透してきたことに加え、感染者数も落ち着きを見せはじめたことから、通常の業務体制に戻る企業も増えている。そんな中でも「移動コストを削減できる」「濃厚接触を避けられる」などテレワークのメリットを残す形で、オフィス勤務とテレワークを組み合わせた「ハイブリッドワーク」を選ぶ企業も現れた。

ハイブリッドワークでは「たまにテレワークだが基本的にオフィスワーク」、「たまにオフィスワークするが基本的にテレワーク」の 2 パターンが存在する。業種業態で事情は異なるため、テレワークとオフィスワークのどちらに軸足を置くかは企業によるところが大きい。このような業務体制の移行に伴い、求められる業務 PC も変化しつつある。

富士通株式会社
CCD 事業統括部
プロダクトマネジメント部
中野 翔子 氏

「超軽量薄型」ではない、PC への新たなニーズ

コロナが流行した当初は「軽量薄型 PC」のニーズが高まった。もともと外出の多い営業職などは PC を持ち運ぶシーンが多く、コロナ以前から軽量薄型 PC のニーズは強かった。一方で、外出が少なくオフィスでの勤務を中心としていた事務系やバックオフィス系の職種でも、PC を持ち運んでテレワークを行うようになったコロナ禍では、同じく薄型軽量 PC が支持された。

しかし、コロナが落ち着きをみせる昨今では、使用環境によっては別の有効な選択肢が浮上してきた。「具体的には、『週1回だけ在宅勤務（もしくはオフィス勤務）』という場合では、軽量薄型ではなくとも持ち運びに差し支えない重量であり、かつ大画面ならではのユーザビリティを備えているほうがトータルでメリットは大きくなることもあります」と富士通の CCD 事業統括部 プロジダクトマネジメント部 中野翔子氏は語る。たとえば 15.6 型では、13.3 型や 14.0 型よりも画面サイズが大きく業務の快適性も向上し、キーボードはテンキーが搭載されているため、入力の利便性が向上する。

このようにハイブリッドワークが選ばれる昨今では、多少の持ち運びを想定し、「可搬性」と「操作の快適性」を両立させる PC にも注目が集まっている。

© 2022 Fujitsu Limited

持ち運べる 15.6 型 PC という新たな選択肢

大幅な軽量化に成功

大画面の使いやすさと持ち運びという 2 つのニーズを両立させたのが、富士通のモバイルノート PC「LIFEBOOK U7 シリーズ」である。13.3 型、14.0 型、15.6 型という複数のサイズをラインアップし、特に注目したいのが 15.6 型である。

中野氏は「15.6 型の大型サイズのノート PC 自体は、以前から存在するものであり、珍しくありません。しかし、今回はこの大画面を維持しつつ約 1.3kg という軽さで可搬性も備えたモデルが登場しました。15.6 型の PC では一般的に 2kg ～ 3kg の重量も珍しくない中で、大幅な軽量化に成功しました」と語る。

U7 シリーズは大型サイズ（大画面）であることによる操作の快適性はもちろん、昨今のハイブリッドワークで求められる機能や要件もカバーしている。

具体的には、「バッテリー駆動時間の短さ」や「マイク・カメラの機能不足」、「セキュリティへの不安」などに悩まされることはない。テレワークでは場合によっては長時間のバッテリー駆動や高セキュリティに加え、高負荷となるオンライン会議にも対応できる処理性能も求められる。これらの問題を U7 シリーズはすべてクリアしている（詳細は 3 ページで解説）。

		U7312	U7412	U7512
画面サイズ		13.3 型	14.0 型	15.6 型
薄さ（高さ）		18.9㎜	18.9mm	19.1mm
質量（システム構成による）		約 0.99kg ～ 約 1.11kg	約 1.13kg ～ 約 1.18kg	約 1.31kg ～ 約 1.43kg
駆動時間（システム構成による）		約 26.0 時間 ～ 約 14.5 時間	約 26.0 時間 ～ 約 14.0 時間	約 20.0 時間 ～ 約 10.2 時間
12 世代 P シリーズ	Core™ i7-1270P	○	-	-
	Core™ i5-1250P	○	○	○
12 世代 U シリーズ	Core™ i5-1235U	○	-	-
	Core™ i3-1215U	○	○	○

「LIFEBOOK U7 シリーズ」のスペック

ノート PC が大画面を備えるべき理由

15.6 型を特におすすめできるのは、PC の持ち運び頻度が少ないバックオフィス系の職種だ。テレワークよりオフィス勤務を中心としており、「表計算ソフトなどでのテンキーを用いた数字入力」や「複数のウィンドウを扱った資料作成」などの作業を行うことの多い職種だ。昨今大画面が求められる理由として、例えば以下の 2 点が挙げられる。

●外付けディスプレイの代替としての役割

軽量薄型 PC に多い 13.3 型や 14.0 型はしばしば、「画面サイズが小さく作業しづらい」という声が挙がる。複数のアプリケーションを起動し、画面を分割しながら作業をしていると、ウィンドウ 1 つあたりの画面サイズが小さくなり、細かな文字や画像を読み取りにくくなる。そこで外付けディスプレイを接続して画面サイズを拡張している企業は多い。しかし、在宅勤務では必ずしもその使用方法ができるとは限らない。

「ご家庭によっては専用の仕事部屋があるわけではなく、また限られたデスク上で作業している場合も多く、外付けディスプレイのために奥行きのあるスペースを確保できるとは限りません。ダイニングテーブルなどで広めのスペースを確保したとしても、食事ごとにディスプレイを片付けなければならないなど、かえって不便になる可能性もあります」（中野氏）

このように外付けディスプレイで画面サイズは解決できるものの、環境によっては利用できない場合もあるということだ。

●「オフィス内モバイル」としての役割

基本的にオフィス勤務中心でも、昨今では「オフィス内をあちこち移動する」シーンが増えている。たとえば、会議室にノート PC を持ち込んでしまえば、わざわざ紙資料を用意せずとも画面共有やファイル共有で事足り、業務効率向上はもちろん、ペーパーレス化にもつながる。

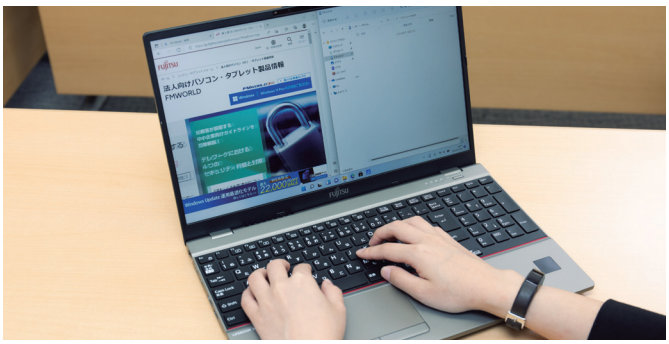
さらには、コロナ禍によって変わったオフィス事情も関連している。

「コロナでオフィスを縮小し、1 人ひとりに固定の席を設けない企業も増えました。フリーアドレス制を採用し、ロッカーだけで自席が用意されていないオフィスでは、退勤時にデスク上を片付ける必要があるため、大画面かつ持ち運びできる大きめのノート PC がフィットするのです」（中野氏）

複数のウィンドウを広く表示できるメリット

前述の通り、13.3 型や 14.0 型に比べると 15.6 型は画面サイズが大きくなることで、表示できるウィンドウ数が増え、より快適に作業を進められる。資料 1 つを作成するにも、参考とするファイルやデータを複数で表示して入力することは間違いなく効率的であり、こまめにウィンドウを切り替える煩わしさも解消できる。

営業事務や経理担当など PC で資料を作ったり参照したりする職種では、数字を入力するシーンは他と比べて多くなりやすいため、テンキーが搭載されているキーボードへ寄せられるニーズも強い。これも 13.3 型や 14.0 型ではなく 15.6 型を利用するメリットの 1 つだ。



15.6 型であれば複数のウィンドウを広く確保しながら作業ができる

© 2022 Fujitsu Limited

昨今の働き方に対応する 15.6 型 U7 シリーズの特徴

大型ノート PC でバッテリー駆動時間の課題を解消

U7 シリーズは、先に少し触れたが、従来の大型ノート PC が抱えていたさまざまな課題を解消している。その 1 つがバッテリーである。

例えば、15.6 型は最大約 20 時間※という長時間のバッテリー駆動を実現している。昨今の場所にとらわれない柔軟な働き方では、一般的な事務作業でも、PC を一時的に持ち運んで利用することは多く、そうした使い方にも対応できる。なお本モデルはバッテリー交換（メモリ増設も）を自身で行うこともできる。背面のカバーは故障につながりかねないネジの紛失を防止するためにカバーから取れないように工夫されている点も U7 シリーズの特徴である。

U7 シリーズはバッテリー交換やメモリ増設を行うことも可能。カバーを外してもネジはカバーから取れないように工夫されている

在宅勤務やオンライン会議に適した機能も搭載

U 7シリーズはオンライン会議の行いやすさにも配慮されている。CPU は最新の 12 世代インテルプロセッサーを搭載し、11 世代と比べるとパフォーマンスは約 20% の向上に成功した。アプリケーションの操作もスムーズであり CPU にも負荷がかかるオンライン会議にも役立つ。それ以外に、テレワークや在宅勤務といった特別な環境下でもオンライン会議ができるように、以下の機能を搭載している。

●自分の声だけを相手に聞きやすくする AI ノイズキャンセラー

オフィス外でのオンライン会議では、救急車や工事、ペットの泣き声、子どもの話し声、といった雑音が入ると会議の妨げとなることがある。「AI ノイズキャンセラー」は、会議に必要な音とそうではない音を AI が識別して雑音を低減し、自分の声だけを相手に届きやすくする。

●相手の声を聞きやすくする Waves MaxxAudio ボイスモード

「Waves MaxxAudio ボイスモード」は、自動で「周波数特性向上」や「低音増強」、「音圧向上」、「輪郭クリア」、「擦過音・破裂音調整」を行い、相手が発する音声を聞き取りやすくする機能だ。

●物理的に遮断できるプライバシーカメラシャッター機能搭載

「オンライン会議中に自宅のプライベート空間が見えてしまった」といった意図しない映り込みを防ぐのが、物理的にカメラを遮断できる「プライバシーカメラシャッター機能」だ。オンライン会議でカメラオフ設定にしていたとしても、何らかの拍子でカメラのスイッチをオンにしてしまうトラブルも起こり得る。この機能はそうしたリスクを限りなく低減できる。

物理的にカメラをオフにできるため、意図しないビデオへの映り込みを防止できる

セキュリティ機能

U7 シリーズではハイブリッドワークに対応したさまざまなセキュリティ機能が搭載されている。

●本人認証機能の強化

標準搭載される認証ソフトウェア「AuthConductor Client Basic」とカスタムメイドオプションの手のひら静脈センサー、指紋センサー、IC カードリーダを使えば、なりすましを防ぐために、ID/ パスワードの代わりに生体認証や IC カード認証によってシステムにログオンすることが可能だ。特に手のひら静脈認証は、加齢や外傷の影響を受けにくく高い認証精度を実現できる。

● PC やデータの盗難 / 紛失時に情報漏えいを防止

オプションで購入可能な秘密分散ソフト「Portshutter Premium Attachecase」により、PC 上に保管するデータはファイルデータの一部分のみにし、残りのデータはファイルサーバーやスマートフォンに保存。本来のデータを意味のないデータに自動で変換・分割し、PC 本体とファイルサーバーなどに分散保存することで、情報漏えいを防ぐことができる。

●リモート管理にも対応

U7 シリーズは、インテル ® vPro® プラットフォーム対応であるため、リモート管理にも対応している。この技術では PC が電源オフの状態でも遠隔から起動できるため、端末紛失時の遠隔操作やサポートにも有効だ。

※大容量バッテリー搭載時。JEITA2.0 準拠

© 2022 Fujitsu Limited

使いやすさを高めるためのこだわり

U7 シリーズでは、ここまで紹介した機能以外にもこだわったポイントがある。それが、新たに採用された「ウォームシルバー」という筐体のカラーだ。最近のオフィス空間では、従来のような無機質なインテリアではなく、自然を感じられるウッド調や高級ホテルのロビーのようなインテリアを採用する企業も増えている。また、在宅勤務であれば、リビングや書斎といった生活空間にノート PC を置くことになる。

「このような空間の中では、これまでの定番色であるブラックは強い存在感や圧迫感を与えてしまいます。そこで U7 シリーズではどの空間にもなじむようなデザインカラーを念頭に、複数の候補から多くの人の意見を聞き、最終的に決定したのがこのウォームシルバーです」と中野氏は説明する。重厚感のある空間にもカジュアルな空間にも置いて違和感がないという点からも、U7 シリーズはハイブリッドワークに適した PC であるといえるだろう。

PC 選定も相談できる「富士通 WEB MART」

現在富士通では、法人向けの直販サイト「富士通 WEB MART」を展開している。富士通 WEB MART では、デスクトップ PC やノート PC、タブレット、周辺機器・ソフトウェアといった幅広い製品を取り扱っている。

最大の特徴は、通販サイトでありながら、お客様一人ひとりに寄り添った製品の提案ができる点だ。一般的な通販サイトでは、お客様自身に各 PC を比較検討してもらい、注文のみを受け付ける形態が一般的だ。

ウォームシルバーの「LIFEBOOK U7 シリーズ」15.6 型モデル

しかし、業種業態や企業によって最適な PC は異なるため、選定の際には丁寧なサポートを受けたいと考えるお客様は多いだろう。そうした悩みを解決するため、富士通 WEB MART ではメールのほか、専門オペレーターによる電話での問い合わせも受け付けている。

製品を購入いただくと、送料無料（※無料の会員登録が必要）で、最短 2 営業日でお届け可能だ。クレジットカード / 銀行振込 / 代引きから支払い方法を選べ、「セットアップサービス」といったオプションも選択可能だ。

富士通 WEB MART では、お得なキャンペーンも随時行われているため、ぜひ一度のサイトをチェックしてみてはいかがだろうか。

FUJITSU　intel.
インテル®　Core™ i5 搭載インテル® vPro®
高い負荷の作業も快適かつセキュリティを強化
intel. vPRO i5

Fujitsu Notebook LIFEBOOK U7 シリーズ
豊富なカスタマイズメニューを取り揃え
拡張性にも優れた軽量モデル

パソコン直販サイト 富士通 WEBMART[法人]
お得なキャンペーンも実施中
> 富士通 WEB MART はこちら
0120-959-242　https://direct.jp.fujitsu.com

お問い合わせ先

〔購入相談窓口〕0120-959-242
受付時間 9 時～18 時（土曜・日曜・祝日・当社指定の休業日を除く）
富士通株式会社　〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター
https://jp.fujitsu.com/platform/pc/

© 2022 Fujitsu Limited